

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：平成 29年6月13日

作成者：森 永 洋 子

団体名	
AC31 期会 南京玉すだれひまわり会	
事業名	日時(期間) , 場所
南京玉すだれの披露と伝承	単発的 4～1月の間に10回 場所は芦屋市内9ヵ所 報告書参照
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
①依頼要請を受けた会場に出向いて、南京玉すだれを披露伝承する。 ②会員は4～5名・又8名全員で出向く。 会場のスペース・参加人数等により会員の出向く人数を考慮する ③「身近な場所で 見る・聞く・ちょっとやってみよう」の流れで約20～60分、楽しく、賑やかな空間の中で、楽しんでもらう。 ④大きな会場では、披露する事を中心とした内容 身近な会場では、披露する事と伝承する事に重点をおいて、玉すだれにちょっと触れて操作して見る「ミニ体験コーナー」を大事にしています。 ミニの玉すだれを用意して、2～3人の方を対象に手ほどきをしながら、皆さんに体験を進め玉すだれの世界で共有していただきます。ちょっとしたつもりが、多くの人達がのってきて、「時間が少なかった」との感想をいただいた会場もありました。	(70) 人
	参加者数
	(520) 人
成果(社会へのインパクト) どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
今年度は、市内各地から依頼を受けたこと～皆さんが興味を持って頂いたことです。 参加された感想は～*時間があれば玉すだれ練習したいと思いました。 *どこに 玉すだれ 売っているんですか？ *メンバーの方お見事！ 素晴らしかったです。 *小さな子に伝統芸を体験してもらう事は良いことです。 *元気をもらいました。とつても楽しかった。 *又見たいです。 ～頂いた感想～	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
日本古来の大道芸出来るだけ <u>生のものに触れる機会を増やして生きたい</u> それには、玉すだれの道具類を増やしていく予算的なこと、又会員の増加を願っています。老健施設での楽しいひとときの提供、大事につなげていきたいと思っています。	